TOPICS 2 「芦田川 さかなマップ」を作成しました！

☆さかなマップは裏面に掲載しています☆

参加者の声！

- ◆ 自然にふれあい、ふだん体験したことがない経験ができた。
- ◆ 自然の生き物のことがよくわかった。
- ◆ 川がきれいになるのはとても良いことだと改めて感じることができました。
- ◆ ふだん見れない魚が見れてよかった。
- ◆ いろいろな魚とふれあえたし、魚のこともいろいろ知ることができたので楽しい一日でした。
- ◆ いろいろ教えてもらいながら、身近な芦田川の生き物を子供たちと探すことができて、貴重な体験ができました。

この活動は、トヨタ自動車株式会社の「トヨタ環境活動助成プログラム」、公益財団法人日野自動車グリーンファンドの助成を受けて行なったものです。

芦田川環境マネジメントセンター会員募集中！！

芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）では、今後も芦田川の水環境をテーマにさまざまな活動の企画を予定しています。そこで、これらの活動のさらなる充実を図るため、活動に参加もしくは支援してくださる個人や団体を募集しています。 募集要項・入会申し込み書等の入手は、ホームページ（http://fm777.co.jp/pc/aemc/）をごらんください。

AEMCで検索してね！ aemc 検索

みなさんのご参加をお待ちしています。

特別号 くりんちゃん

くりんちゃん通信

芦田川環境マネジメントセンター ニュースレター

2017年12月

【発行・事務局】
芦田川環境マネジメントセンター（AEMC）
〒720-8555 広島県福山市西町2-10-1
福山商工会議所ビル1F エフエムふくやま内
TEL（084）920-8777
E-mail aemc@fm777.co.jp
Homepage
http://fm777.co.jp/pc/aemc/index.html

TOPICS 1 “平成29年度 「芦田川 水辺の学び舎”開催」

流域住民の皆様に水環境改善へ関心を持っていただくため、"芦田川 きれい☆きれいプロジェクト"の一環として、流域の子どもたちを対象に、芦田川をフィールドとした体験学習会「芦田川 水辺の学び舎」を9月24日（日）に開催しました。

当日の参加者数は総勢110名でした。

実施状況としては、午前中に府中大渡橋、出口川において、生き物調査（水生生物や魚調べ）や水質調査を行ったあと午後から、川の様子や捕まえた魚の生態、調査の感想などを、魚のイラストとともにマップにとりまとめました。

その資料をもとに、事務局でイラストや紹介文章などのレイアウトを調整し、「芦田川さかなマップ」を作成しました。

調査のようす。。。

【本パンフレットは、トヨタ自動車株式会社の「トヨタ環境活動助成プログラム」の助成を受けて発行したものです】

芦田川さかなマップ

2017年9月24日作成

凡例

- 平成17年
- 平成18年
- 平成19年
- 平成20年
- 平成21年
- 平成22年
- 平成23年
- 平成25年
- 平成26年
- 平成27年
- 平成28年
- 平成29年
- 貴 きれいな川に住む魚など、芦田川にとって貴重な種類。

府中大渡橋

調査した場所
田畑の間に家がまばらにあるような場所で、比較的水はきれいである。川幅は広く、水の流れは平らである。川の中に杭がたくさんあり、草が茂っているため、水辺の生物にとって生きやすい環境だといえる。見つかる魚の種類が多く、アカザも見られる。川岸が整備されず、川の中に入りやすくなっている。

アユ
本州全域に住んでいる。天然アユは減少しているため、琵琶湖などから稚魚を取り寄せて放流している。石の表面に付いている藻を食べる。中流に多くいる。

カワムツ
本州中部以西に生息しているが、現在では関東地方でも見られる。河川の上、中流や流れのゆるやかな淵に多くいる。なわばり意識が強く雑食性で昆虫や落ちなどを食べる。太い1本の暗色の縦縞があるのが特徴。

オオクチバス(別名:ブラックバス)
北アメリカ原産で、今では国内のほぼ全域に分布している。止水や流れのゆるやかな河川に生息し、大きな口で魚類や甲殻類を食べる。体側から背にかけて不規則な暗斑があり、腹側が黄味を帯びた白色となっているのが特徴。特定外来種に指定されている。

カマツカ

タモロコ

ナマズ

イトモロコ

オイカワ

メダカ

コウライニゴイ

カワヨシノボリ

貴

ギギ
本州中部以南、四国、九州の東部に分布し、比較的水がきれいで、石や流木、石垣などがあるところで見ることができる。背ビレと胸ビレのとげが発達していて、さされると激しく痛む。つかまえると胸ビレでギーギーなく。

アカザ
宮城県・秋田県以南の本州、四国、九州に広く分布する。水が比較的きれいな川の中流から上流下部の瀬の石の下や間にすみ、石のすき間をかいくぐるように泳ぐことが多い。背ビレに1本、胸ビレに1本、腹ビレに1本の大きなトゲがあるのでさされると痛い。芦田川水系での生息数はきわめて少ない。

ムギツク
琵琶湖以西の本州と、九州北部に分布し、大きな石があるようなところのよどみにいる。小さなおちょぼ口が上向きについている。すぐ暗がりにかくれてしまう。石についている水生昆虫を食べる。

ズナガニゴイ
近畿地方以西の限られた川にしかいない。川の中流から下流域に分布し流れのゆるやかな川底に砂泥にもぐって水生昆虫などを食べる。
普通のニゴイよりも体が小さいが頭と吻は長く、体側に小黒点の列がある。

ヤリタナゴ
北海道と南九州を除く各地に生息し、平野部の細流や用水路上部などの水の流れのある所にいる。ソウ類をよく食べマツカサガイやイシガイに産卵する。繁殖期の雄は体側が紫黒色で体幅が狭く、背ビレに黒い斑点がある。

ウナギ
太平洋側は北海道の日高地方以南、日本海側は石狩川以南の日本各地に分布する。背側は暗色で、腹側は白色、特別の斑紋はない。春から秋にかけて水生昆虫類、小型の魚類、貝類、エビ類、カエル類などを活発にとり、成長する。

ブルーギル
原産地は北アメリカ中東部一帯で、現在は日本各地に分布。幼魚は暗褐色の横縞が入る。エラぶたの上端に黒色の斑紋があるのも特長。

シマドジョウ

コイ

みんなが選んだ！ 好きな生き物トップ3

府中大渡橋	出口川
1. ギギ	1. ギンブナ
2. イトモロコ	2. オイカワ
3. アカザ	3. カワヨシノボリ

今年の人気者 ギンブナ

はじめて選ばれたよ！

沢山の種類の魚がいるのがわかった。
いろいろな魚の名前が知れて楽しかった。

自然にふれ合い、ふだん体験したことがない経験ができた。

今年もたくさんの種類の魚がいました。川がキレイになるのはとてもいいことだと改めて感じることができました。

水質調査結果(パックテスト等) 調査日:2017/9/24

項目	地点名	
	芦田川 府中大渡橋	出口川
時間	11時10分	12時00分
気温(℃)	23.0℃	28.0℃
水温(℃)	21.0℃	22.0℃
透視度	100cm以上	100cm以上
pH	7.5	7.5
COD(mg/l)	4mg/L	5mg/L
亜硝酸(mg/l)	0.02mg/L	0.02mg/L
リン酸(mg/l)	0.05mg/L	0.05mg/L

府中大渡橋で見つけた生物

- カワゲラ
- サワガニ
- オオシマトビケラ
- ヒラタドロムシ
- コオニヤンマ
- カワニナ
- シジミ属
- カゲロウ目
- スジエビ
- ヌマエビ科
- ヒゲナガカワトビケラ
- アメンボ
- サナエトンボ科
- カワトンボ科

まとめ

カワムツ、ムギツク、シマドジョウなど、比較的きれいな水質にすむ生き物が見つかりました。
また、府中大渡橋では、昨年度に続いて貴重種のアカザが見つかり、5年ぶりにズナガニゴイも見つかりました。
今後も魚を通して、芦田川の健康状況を見守っていければと思います。

出口川

調査した場所
出口川は町の中をながれていて、生活排水が流れこむ川である。川岸には草が多く生えているが、頻繁に刈り込みが行われていて、魚のすみかが減っている。川幅が狭く流れがゆるい。川底は砂が積もっていて魚の種類が多く、カワヨシノボリが定着している。

カワヨシノボリ
中部地方以西の西日本に住む。
上流や淵の流れのゆるやかな所に住み、藻類や小型の水生昆虫を食べる。止水域ではなぜか生息できない。

カマツカ
本州、四国、九州に分布し、用水路の砂や石の川底で流れのある場所でみられる。口が下向きについていて、くちびるが大きくのびる。口からえさをおいとばかり、エラぶたからポンプ出しながら前進する。

タモロコ
山間地方では全域で見られる。川の中、下流域の湖沼や池などのよく人工水路にもすんでいる。雑食は浮泥で動物プランクトンを食べ、年で産卵し、成魚は動物質を中べとした雑食。以前は池などにたくさんいたが最近は見られなくなっている。

コウライニゴイ
従来1種とされていたニゴイの本州以南に生息するものが明らかになり日本での分布が確認された。中部地方から九州地方、四国の大河川の中・下流に生息する。砂底を好み水生動物や藻類を食べる。

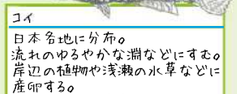
シマドジョウ
本州、四国、九州の一部に分布し、冷たく水のきれいな水域の砂底にいる。眼下にとげと現れる。おどろいたりすると砂によくもぐる。川底で小型生昆虫、底生動物、有機物を砂と一緒に食べ、砂だけを出している。

イトモロコ
愛知県以西、九州水郡まで住んでいる。
中流から下流にすむ。芦田川では比較的上流側に分布しており、支流の流れで多数観れているでしがある。

ギンブナ
全国各地に分布する。
川の下流の淀みや、平地の低湿地帯や沼地に生息する雑食性で底生動物および藻類などのほかに、場所によって動物プランクトンなども食べる。ギンブナには、雄がいない。

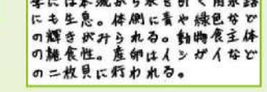
タカハヤ
日本海側では富山県以西、太平洋側では静岡県以西の本州、四国、九州に分布し、上流部の植物の根周りなどでみられる。カロコがとても小さく、体表はタメヌメしている。

アブラハヤ
青森県以南～福井県、岡山県まで分布。全長15cmほどで、河川の上流域から下流域にかけて生息。タカハヤによく似るが、尾柄が細長い。また、体側の小黒点は側線付近に集まり、縦条を形成する。



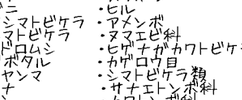
コイ
日本各地に分布。
流れのゆるやかな淵などにすむ。岸辺の植物や浅瀬の水草などに産卵する。
雑食性で、底生動物のタニシやイトミミズ、水草などを食べる。

カワヒガイ
濃尾平野以西から九州北西部の中下流地域に生息している。夏季には本流から水を引く用水路にも生息。体側に青や緑色などの輝きがみられる。動物食性体の雑食性。産卵はイシガイなどの二枚貝に行われる。

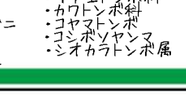


オイカワ
関東以西の本州、四国、九州に分布し、河川中・下流域および湖沼に広く生息する。
稚食で付着藻類から水生昆虫や遊下昆虫、底生動物や浮遊動物などを食べる。また、成長にともなって食性転換が起こる。雄は、産卵期には、婚姻色が出て、とてもきれいだ。

メダカ
本州以南に広く分布し、池、水田や用水、河川の下流域など、流れの緩い場所に生息する。
動物・植物プランクトンや水面に落ちた小さな昆虫などを食べる雑食性。近年は、水路のコンクリート化など開発が進み、次第に住み場が失われている。



ドンコ



ムギツク

参加者の作品

ギギ

カワヨシノボリ

出口川で見つけた生物

- カワゲラ
- サワガニ
- コガタシマトビケラ
- オオシマトビケラ
- ヒラタドロムシ
- ゲンジボタル
- コオニヤンマ
- カワニナ
- ミシマサンカクガニ
- アメリカザリガニ
- シジミ属
- ウシガエル
- トノサマガエル
- スッポン
- ヒル
- アメンボ
- ヌマエビ科
- ヒゲナガカワトビケラ
- カゲロウ目
- シマドジョウ類
- サナエトンボ科
- カワトンボ科
- コヤマトンボ
- コヤマトンボソヤンマ
- シオカラトンボ属